

【耕畜連携】（大阪府能勢町 スマート農業技術を活用したWCS用稲の生産と循環型農業の取組）

【天王ナチュラルファーム】

- 大阪府能勢町天王地区では、農業者の高齢化と担い手不足等から遊休農地の増加等が課題となっていたことから、地元農家の有志で「天王ナチュラルファーム」を設立し、地域の水田の耕作作業を受託。
- 化学肥料や飼料の高騰を受け、同ファームには酪農家のメンバーもいたことから、耕畜連携モデルづくりのため令和4年からスマート農業技術も活用し、WCS用稲の生産に着手。
- 大阪府内で初めての専用収穫機やラッピングマシンによる収穫・調製を実施。大阪府の協力を得ながら、収穫した稲WCSの成分分析や乳牛への給与試験を行い、良質な稲WCSが生産できることを実証。
- 2024年は、WCS用稲の作付けを拡大するとともに、堆肥を活用しながら化学肥料等の削減にも取り組み、「大阪エコ農産物」の認証取得を計画。また、隣県でWCS用稲の収穫作業も請け負うこととし、耕畜連携の広域化にも取り組む。

天王地区の概要

大阪府最北端、標高500m

地区面積＝53ha

耕地面積＝32ha

（圃場整備面積＝20ha）

世帯＝62戸

農業世帯＝47戸

人口＝約130人



【ドローンによる直播】

【関連情報】

天王里山テーマパーク化構想（2017年7月）

天王
ナチュラル
ファーム

伴走支援

スマート農業
を起爆剤に

- ・天スマ情報発信イベント
- ・学生交流プロジェクト
- ・天スマ農業応援隊 等

天王地区の活性化
（農業振興、関係人口・交流人口の増加）



【専用収穫機等によるWCS用稲の収穫状況】